| 学校番号 | 3026 |
|---|---|

# 令和8年度　グローバル探究科

| 教科 | (学)グローバル探究科 | 科目 | (学)Visual Arts SL(IB) | 単位数 | 4単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | - | | | | | | |
| 副教材等 | - | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

この教科は国際バカロレア(IB)ディプロマ・プログラムのVisual　Artsカリキュラムに基づいている。高校2年生から履修を開始し、Standard Level(SL)を開講している。

授業は、制作活動とリサーチ、対話的な振り返りを中心に構成されており、比較研究(ComparativeStudy)、プロセスの記録(ProcessPortfolio)、展示(Exhibition)を通して、美術に関する知識・技能・批評的思考力を総合的に伸ばしていくよう設計されている。

テーマは固定されていないが、生徒は自己の関心や問題意識を出発点とし、アイデンティティ、経験、社会、文化、環境、テクノロジーなど多様な視点から探究を行う。世界各地のアーティストや作品を参照しながら、異なる文化的背景や文脈を理解し、自らの制作へと発展させていく。

本教科では、国際的な視野をもって芸術を考察する姿勢を養うこと、探究に基づいた主体的な制作態度を確立すること、そして自らの作品意図を明確な言語で説明・発信できる力を育成することを主な目的としている。

2　学習の到達目標

・選択したアーティスト、作品、またはテーマについての十分な知識と理解を示す
・美術に特有の用語や概念(例:構図、メディウム、コンセプト、文脈、形式分析など)を適切に用い、その理解を示す
・文化的・歴史的背景を含め、作品を支える文脈に関する信頼性と関連性の高い資料を収集し、その方法について理解を示す
・比較研究や制作意図にとって妥当性の高い作品・アーティストを選択し、探究を主体的に展開する
・視覚的・概念的観点から作品を批評的に分析し、明確な問いや意図に焦点を当てて論述・考察する

3　評価の観点及びその趣旨　*IB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | | | |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり(領域)ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | CS | 比較研究(CS) | 選択したアーティストや作品について、文化的・歴史的文脈を含めた理解を示すことができる。 | CSを提出しIB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。 | | |
| | PP | プロセスポートフォリオ(PP) | リサーチをもとに実験的な制作を行い、プロセスを記録できる。 | PPを提出しIB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。 | | |
| | Ex | 展示(Ex) | コンセプトを明確にし、素材・技法を意図的に選択して制作できる。 | Exを行いIB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。 | | |
| 二学期 | CS | 比較研究(CS) | 選択したアーティストや作品について、文化的・歴史的文脈を含めた理解を示すことができる。 | CSを提出しIB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。 | | |
| | PP | プロセスポートフォリオ(PP) | リサーチをもとに実験的な制作を行い、プロセスを記録できる。 | PPを提出しIB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。 | | |
| 三学期 | | 振り返り | 二年間の学習を振り返ることができる。 | 振り返りレポート | | |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度